

1. 基本情報						
事務事業番号	02281	事務事業名	横川長安寮老人ホーム運営事業	担当部	保健福祉部	
政策名	003	やさしさ(誰もが支えあいながら生き生きと暮らせるまちづくり)			担当課	横川長安寮
施策名	003	住み慣れた地域で暮らし続けるための地域包括ケアの推進			担当課長	田中 和久
基本事業名	003	高齢者の居住の安定の確保			グループ	管理グループ
予算科目目	会計 一般会計 款 03 民生費 項 01 社会福祉費 目 05 養護老人ホーム費	事業期間	単年度のみ 単年度繰返(開始年度 ~) 期間限定複数年度(~)			
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	根拠法令・条例等	関連計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標<Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)
 老人福祉法や社会福祉法に規定されている老人福祉施設である横川長安寮は、市が設置・運営を行っている養護老人ホームで、昭和31年6月に横川町立養老院(定員30人)として開設され、昭和57年2月に現在地横川町中ノ4752番地3へ移転新築(定員60人)された。入所されている方は、65歳以上の方で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅で生活が困難な高齢者を行政責任において措置している。入所者に対しては、心身の健康の保持及び生活の安定のため、日常生活では、介護、食事、健康管理、生活相談を行い、また、生きがいを感じながら楽しく生活できるように、さまざまな行事やイベント、クラブ活動等も実施している。

活動指標 (事務事業の活動量)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込)
ア 入所者数(施設サービスを提供した人数)	人	20	30	22	30
イ					
ウ					

(2) 事務事業の目的

対象 (誰、何を対象にしているのか)	対象指標 (左記 対象の大きさを表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (見込)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (見込)
ア 横川長安寮の入所者	入所者数	人	20	30	22	30
イ						
ウ						

意図 (対象をどうしたいのか)	成果指標 (左記 意図の達成度を表す指標)	単位	平成30年度 (実績)	平成31年度 (目標)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (目標)
ア 快適で明るい生活を送る。	施設の管理運営に対する苦情件数	件	0	0	0	0
イ						
ウ						

(3) 総合計画との関係

基本事業の目的、取組方針(総合計画より)
 高齢者が可能な限り、望む場所(自宅や施設など)で生活できる環境づくりを進めるとともに、地域のニーズに応じた有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等の適切な供給により、住み慣れた地域で「住み替え」が促進される環境を確保します。
 また、それ以外の施設についても適切に施設が確保されるよう、計画的な施設整備の調整等を行います。
 さらに、市立の養護老人ホームについては、入所者の福祉の向上を目的とした民営化を進めます。

3. 前年度の評価表に記載した課題

平成31年度の改善改革の内容(取り組むべき課題)
 入所者が園での生活を楽しく快適に過ごし、生きがいを見出せるように各種のサービスや行事を行うなどして、職員一同努力するとともに、一人一人に合った介護を行う。
 また、『霧島市保健福祉施設民営化実施計画』に基づき、民営化が決定した場合は、移行に支障をきたさないように事業を進めていく。

4. 事業費の推移

事業費	単位	30年度	31年度		2年度	3年度
		決算	当初予算	決算	当初予算	計画
国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
県支出金	千円	0	0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0	0
その他	千円	20,416	20,552	28,101	27,959	0
一般財源	千円	33,157	38,196	24,537	35,983	63,866
事業費	千円	53,573	58,748	52,638	63,942	63,866

5. 平成31年度の実績及び成果

(1) 平成31年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成31年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【入所者の生活面での介助】 洗濯、入浴、看護、食事の提供、栄養管理、生活指導、健康管理、投薬管理、処遇計画、預金管理、各種保険料の納付などの介助を行った。 【介護保険制度の活用】 介護保険の認定を受けている方で、本人の希望があれば介護サービス事業者と協議し、通所介護サービス等の利用を行った。 【行事等の開催】 誕生会、花見、慰安旅行、七夕、夏祭り、敬老会、ソーメン流し、スカットボール大会、社会見学など季節の行事、園外研修活動も実施した。 【入所者の居室等の改善】 入所者のADLや入所者同士の関係に配慮しながら部屋替等を行った。</p>	<p>【入所者の生活面での介助】 入所者が健康で安心して毎日生活できるように、入浴の介助や生活指導、健康管理を行う等、職員一人ひとりが入所者をサポートし、充実した園生活を送る事が出来た。 【介護保険制度の活用】 介護保険の認定を受けてる方で希望があれば介護サービス事業者と協議し、通所介護サービス等を利用しADLの維持や向上、生きがいのある園生活を支援できた。 【行事等の開催】 各種行事を開催し、季節感を大切に。また、一日旅行や夏祭り・社会見学等の各種行事の開催により生きがいの持てる園生活を支援できた。 【入所者の居室等の改善】 部屋替等を行うことにより、本人のADLに合った部屋の配置や入所者間の人間関係の修復・改善を行った。</p>

事務事業 番号	02281	事務 事業名	横川長安寮老人ホーム運営事業	担当部	保健福祉部
				担当課	横川長安寮

6. 振り返り <SEE (check) >		
A 目的 妥当 性	この事業の目的は、基本事業の目的、取組方針に結びついていますか？	・この事業をなぜ市が行わなければならないですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？
	結びついている	市が実施すべき事業又は実施しなければならない事業である
	間接的に結びついている	市が実施することは妥当である
	結びついていない	見直す必要がある
B 有効 性	成果が向上する余地（可能性）はありませんか？	廃止・休止の影響はありませんか？
	向上する余地はかなりある	影響がある
	向上する余地はある程度ある	影響はある程度ある
	向上する余地はほとんどない	影響はほとんどない
C 効率 性	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？	・事務事業の手段（やり方）を工夫することで、人件費（延べ業務時間）を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？
	削減できない	削減できない
	削減する余地はある程度ある	削減する余地はある程度ある
	削減できる	削減できる
D 公平 性	事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？	
	公平・公正である	
	見直す必要がある	
総合評価判定基準		総合評価
A:継続して取り組むことが適当（やり方改善含む。） B:事業規模・内容・実施主体の見直しの検討 C:事業の統合、休・廃止の検討		B
		理由 老人福祉法のなかで、居宅での養護が困難な場合は、市が入所措置をしなければならないと規定されており、必要な施設ではあるが、平成17年度の国の三位一体改革で入所費用が市町村の一般財源により負担する形となったことや、設置・運営については市だけでなく社会福祉法人も可能なことから、必ずしも市で運営する必要はない。

7. 1次評価結果 <PLAN (Action - Plan) > (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 << 継続・やり方改善 >>				
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充				
		維持			レ	
		縮小				
		休業止（統合含む）				
			皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入（予算）の方向性				
(2) 令和2年度の改革改善の内容 (取り組むべき課題)	入所者が園での生活を楽しく快適に過ごし、生きがいを見出せるように各種のサービスや行事等を工夫するなどして、職員一同努力するとともに、ひとりひとりに合った介助を行う。 また、『霧島市保健福祉施設民営化実施計画』に基づき、民営化が決定した場合は、移行に支障をきたさないように事業を進めていく。					
(3) 令和3年度の方向性 (具体的な取組)	新たな入所者の受け入れを行いながら、各種行事やレクリエーションなどを通じて、入所者との対話の機会を増やす。 また、介護保険の認定者には、本人の希望を聞きながら介護サービスの提供を受けられないか関係機関と連携調整を積極的に行う。					

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者				職・氏名	
(1) 今後の事務事業の改革改善の方向性	の事業 方向性 (成果)	拡充					
		維持					
		縮小					
		休業止（統合含む）					
			皆減	縮小	維持	拡大	
		コスト投入（予算）の方向性					
(2) 総評							

